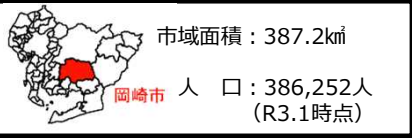


愛知県岡崎市

テーマ: 公共空間から始まる民間主導の公民連携まちづくり



【立地適正化計画】
 平成29年3月公表（都市機能誘導区域）
 平成31年3月公表（居住誘導区域）
 【都市再生整備計画（滞在快適性向上区域）】
 令和3年4月公表予定

○ 公民連携まちづくり「**QRUWA戦略（※）**」として、ウォーカブル区域内の拠点間の回遊の誘導、街路空間の活用における**エリアマネジメントの推進**、かわまちづくりにおける民間事業者による**コンテンツの提供等の実施により、民間主導の稼ぐ力の活用に向けた環境を整備するとともに、イベント時の密の回避を目的としたICTの活用等、「新たな日常」にも対応した賑わいのある空間を創出する。**

※公共空間各拠点を結ぶ約3キロのまちの主要回遊動線（QRUWA：クルワ）を実現させ、公民連携プロジェクトによりまちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図る戦略。

ハード事業

○街路空間の活用
 道路占用特例区域・都市利便増進協定により、都市再生推進法人による**エリアマネジメント**を実現。沿道店舗・住民と一体となった**日常的な歩道空間活用による通りの活性化**を図る。
 (例) 歩道空間オープンテラス化、情報発信板等の常設運営など

ソフト事業

○高質空間形成施設（プロムナード）
 居心地がよく歩きたくなる空間整備のため、主要回遊動線におけるプロムナードの整備、歩行者系案内サインの設置やバリアフリー対応トイレなど街で過ごしやすい機能の充実。

イメージ図

サイクルシェア運営(回遊促進)
 道路占用特例区域 都市利便増進協定
 籠田公園・中央緑道パークマネジメント (公園・駐車場指定管理導入)
 空家・空き店舗のリノベーション活用
 高質空間形成施設 (歩行者系案内サイン): 地区全体
 沿道建築物のリノベーション(NTTビル)
 情報化基盤施設整備解析 (地区内イベント 時3D-LIDER) (人流属性推定カメラデータ分析)
 Park-PFI(桜城橋・橋詰広場)
 高質空間形成施設 (駅前広場へのトイレ等回遊支援機能整備)
 高質空間形成施設 (プロムナード)
 PPP活用拠点形成事業 (交流拠点・回遊拠点等) 道路・公園事業 (周辺市道・河川緑地整備)
 高質空間形成施設 (プロムナード)
 PPP活用拠点形成事業 (交流拠点・回遊拠点等) 道路・公園事業 (周辺市道・河川緑地整備)
 高質空間形成施設 (プロムナード)
 PPP活用拠点形成事業 (交流拠点・回遊拠点等) 道路・公園事業 (周辺市道・河川緑地整備)

凡例 赤線 事業実施箇所 青線 地区範囲
 緑線 ウォーカブル区域

○公園緑地の活用（パークマネジメント）
 籠田公園への常設的な店舗等を誘導し、公共空間内に留まらない**新たな創業と公園の利便増進**、また**地下の市営駐車場と一体の指定管理によるマネジメントを導入し、継続的な公共空間活用と周辺エリアへの波及・民間投資誘導**を図る。

○空家・空き店舗リノベーション
 中央緑道沿道のオフィスビルの1階フロアを、市と企業の連携協定に基づき、中央緑道の活用を図りながら、**周辺地域に波及する新たなコンテンツを誘導**。

○かわまちづくり（河川・公園緑地の活用）
 規制緩和により、**河川空間での民間事業による観光船、SUPやナイトマーケット、キャンプ、などオープンな空間での様々なコンテンツを提供**。

○スマートシティ（ICTの活用）
 3D-LiDERによる**公共空間での集客時の密のコントロール**、アプリを活用したサイクルシェアによる回遊促進、人流属性推定カメラデータを用いたストリートブランディングなど**新たな日常に対応したサービス提供**。

目標設定

QRUWA上の公共空間の民間事業活動日数
 民間事業の活動日数を増加基調に
 (従前値) 204日/年 (令和元年)
 → (目標値) 300日/年 (令和7年度末)

QRUWA上の路線価
 5年後までに対象エリアの路線価を
1㎡あたり300円増加基調に
 (従前値) 110.0千円/㎡ (令和2年)
 → (目標値) 110.3千円/㎡ (令和7年)

地区中央部の橋梁（歩道、人口橋）の往来数
 往来数を5年後までに増加基調に
 (従前値) 6,405人/日 (令和2年)
 → (目標値) 7,200人/日 (令和7年度末)